

無差別殺りくは許されない ガザ侵攻、 ただちに中止を 日本共産党



ガザ地区中央部のヌセイラトキャンプで、イスラエルの空爆で破壊されたビルの瓦礫の上に座るパレスチナの少年 (AP/アフロ)=10月16日

人口が密集し、壁で囲われた狭いガザ地区への大規模侵攻は、子どもや女性をはじめ、罪のない市民におびただしい犠牲を生むことが避けられません。占領下において保護されるべき人々にたいする集団的懲罰であり、決して正当化できません。

イスラエルは、ただちにガザ地区への大規模侵攻をストップすべきです。

無差別攻撃と民間人の連行 ハマスの蛮行を強く非難する

ハマスによるロケット弾攻撃、民間人の連行は、国際人道法に違反するものであり、いかなる理由があっても絶対に許されません。日本共産党は強く非難します。

暴力の悪循環を絶ち、 協議のテーブルに つくことが解決の道です

「イスラエルの占領地からの撤退」「パレスチナ独立国家樹立を含む民族自決権の実現」「両者の生存権の相互承認」——これが中東和平への道です。

暴力の連鎖と紛争の拡大は、パレスチナ国家の実現とイスラエルとの平和共存につながる交渉を通じてのみ、終わらせることができます。日本共産党は、関係各国と国際機関が今、あらゆる外交努力をおこなうよう強く呼びかけます。